

いよぎんホールディングスは2022年10月3日に設立しております。  
 このため、本ディスクロージャー誌の構成は、1～4ページにいよぎんホールディングスの「グループ企業理念」、  
 「グループ中期経営計画」等を記載し、5ページ以降に伊予銀行の2022年度中間期の内容を記載しております。

## グループ企業理念

- 存在意義  
潤いと活力ある地域の明日を創る
- 経営姿勢  
最適のサービスで信頼に応える
- 行動規範  
感謝の心でベストをつくす

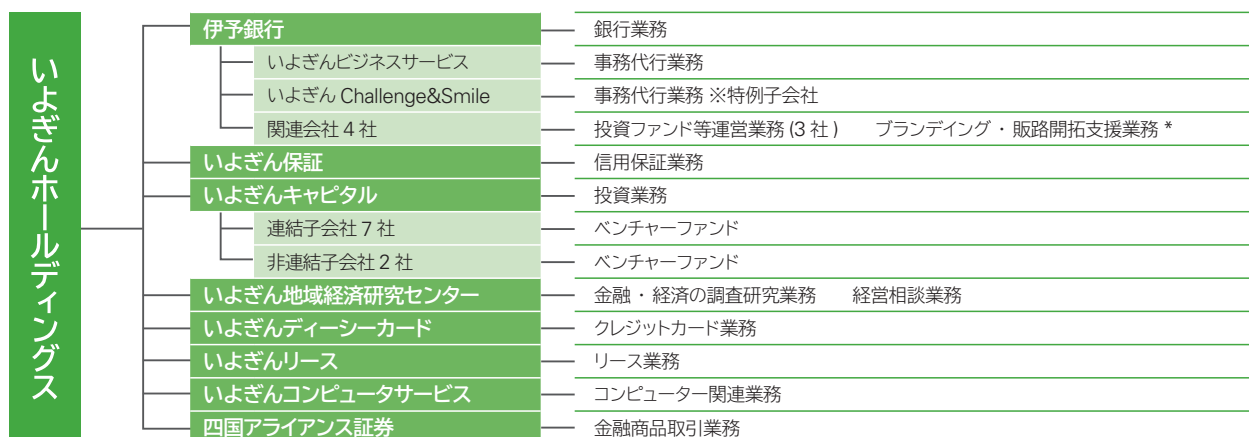
## 長期的に目指す姿（長期ビジョン）

新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ

## 企業概要

- 商号 株式会社いよぎんホールディングス
- 本社所在地 愛媛県松山市南堀端町1番地
- 代表者 代表取締役社長 三好 賢治  
代表取締役専務執行役員 長田 浩
- 事業内容
  - ・銀行その他銀行法により子会社とすることができる会社の経営管理およびこれに付帯関連する一切の業務
  - ・銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
- 資本金 200億円
- 設立日 2022年10月3日

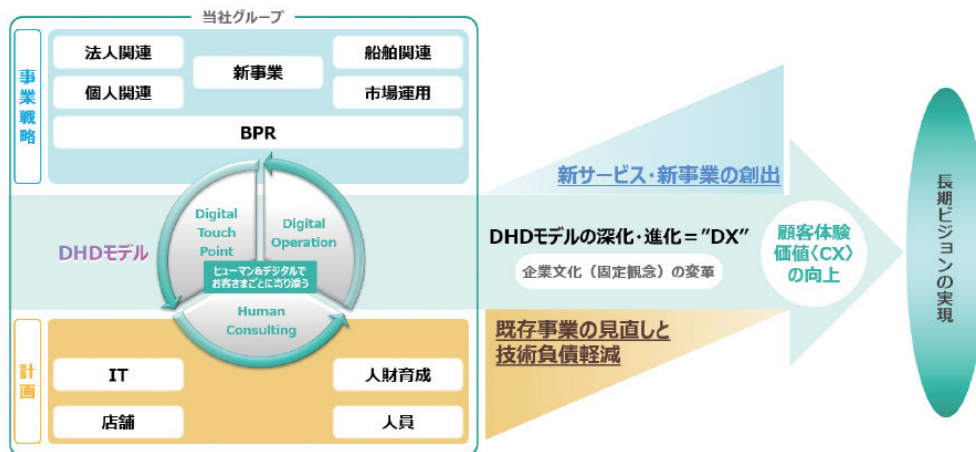
## グループストラクチャー



\* 銀行業高度化等会社 (商号: Shikoku ブランド)

## グループ中期経営計画

グループ中期経営計画は、長期ビジョン「新たな価値を創造・提供し続ける企業グループ」の実現に向けて、事業領域の拡大を志向する「新事業戦略」を追加した6つの事業戦略と4つの計画で構成し、グループ体でのDHDモデルの更なる深化・進化に取り組むことで、企業グループとしてのサステナビリティを向上させてまいります。



※DHDモデル：デジタル技術を活用して、お客さまとの接点を拡大し事務手続きを徹底的に効率化することで、お客さま対応に専念すること

### ■ 事業戦略

法人関連戦略	当社グループおよびパートナー企業等との協働による総合的なソリューションを提供し、顧客体験価値の向上を実現します。
個人関連戦略	あらゆるチャネルにおいて、お客さま1人ひとりに応じた総合的なソリューションを提供し、顧客体験価値の向上を実現します。
船舶関連戦略	海事産業の事業環境変化を適切に捉え、お客さまにとって最適な事業投資をサポートします。
市場運用戦略	安定的な収益と将来の収益につながる総合損益を意識し、流動性を重視した分散投資を実施します。
BPR戦略	事務・定型業務の極小化を図り、お客さま対応や企画業務に投下可能なマンパワーを増強し、グループ全体としての生産性向上を目指します。
新事業戦略	適切かつ果敢なリスクテイクによって地域の課題解決やサステナビリティ向上に貢献する事業・業務開発を継続的に行い、収益機会を創造します。

### ■ 計画

IT計画	外部環境やお客さまニーズへの迅速・柔軟なデジタル対応と、安心・安定・安全なバンキングシステムの維持を両立するITガバナンスの構築を目指します。
店舗計画	店舗を含めたチャネルの再構築を図ることで、お客さまとつながるタッチポイントの多様化を目指します。
人財育成計画	「お客さま起点」を基本的な考え方とし、各々の得意分野で活躍できる人財を育成することで、多様な価値を創造・提供できる集団を目指します。
人員計画	当社グループの生産性向上に向けた適時適切な人員の配置を目指します。

### ■ 経営目標

項目	2021年度実績	2022年度見込み	2023年度目標
連結コア業務粗利益	904億円	870億円	860億円
親会社株主に帰属する当期純利益	264億円	280億円	230億円
連結ROE（株主資本ベース）	5.34%	5.41%	4.0%以上
連結コアOHR	57.05%	60.06%	60.0%程度
連結普通株式等Tier1比率	14.28%	14.66%	15.0%程度
グループ会社（除く銀行）コア業務粗利益	84億円	82億円	90億円

※グループ会社（除く銀行）コア業務粗利益：連結相殺前における銀行除くグループ会社のコア業務粗利益の合計額